

## 第4回幼稚園再編に係る地域協議会(生駒台幼稚園) 会議録

日 時:令和3年7月13日(火)15時から

場 所:生駒台幼稚園リズム室

参加者:森本座長、大植委員、松田委員、町田委員、横井委員、田中委員、坂上委員、山本委員、米田委員、田端委員、辰巳委員、坂谷委員

事務局:原井教育長、奥田部長、松田課長、松本指導主事、福山課長補佐、生水(会議録作成者)

傍聴者:3名

### <開会>

座長挨拶

### 次第1 こども園化のシミュレーション

委員説明(別紙資料1)

座長 すぐに統合してこども園化するのは難しいという事が今のシミュレーションで理解できた。また、様々な課題についても説明があった。何か質問などはあるか。

### 次第2 「幼稚園再編・こども園化についての意見書」について

事務局説明(別紙資料2)

事務局 委員より意見をいただいたので、意見書の2ページ中段に生駒台小学校の敷地利用について記載した。また、結論について3ページ下段にまとめという形で記載した。

座長 他に何か補足説明などはあるか。

委員 俵口幼稚園と統合してこども園化というまとめで良いのだろうか。俵口幼稚園側の要望もあるだろうし、反対意見も増えていると聞いている。生駒台幼稚園の単独でのこども園化や、俵口幼稚園の存続について何か方法はないだろうか。

座長 俵口幼稚園との統合という文言が、皆さんの総意なのだろうか、という意見である。文言をストレートに意見書に記載するのか、もしくは俵口幼稚園の意見を反映してといったような注釈を入れるのかについて、何か意見はあるか。

座長 ベースとしては教育委員会で作成した意見書案で賛成だが、俵口幼稚園での協議内容を考慮すること。考慮することによって時間がかかるのであれば、生駒台幼稚園だけでこども園化すること。このような形でよろしいか。

委員 俵口幼稚園の地域協議会の意見はどのようになっているのか。

事務局 今、俵口幼稚園の意見書案も作成していただいているところ。地域協議会の目的が原案に対する課題整理ということもあり、集まった意見について記載している。俵口幼稚園の方では、園存続についての総意を記載したいとのことだった。

委員 統合が課題となって、話が前に進んでいない。俵口幼稚園の意見が反対であれば、丁寧に進めていく必要がある。

座長 俵口幼稚園の意見を尊重し、統合を強引に進めるのではなく、生駒台幼稚園単独のこども園化を検討するということか。

委員 職員数が少ないという課題もあるので、体制や環境が整ってからのこども園化も検討すべき。ただ、俵口園区の保護者の為にもある程度の方向性を示す必要はあると考える。

事務局 地域協議会では方向性を決めていただく必要はないと考えている。皆様に集めていただいた意見を基に、意見書を作成するのが地域協議会の目的であり、お願いしてきた事である。また、俵口幼稚園側の心情も意見書に組み込むのは大きな負担になると思う。生駒台幼稚園の地域協議会として、園児にとって何が良いかについての意見をいただきたい。

座長 意見書にまとめは記載しないという形も考えられる。

委員 俵口幼稚園の意見についても尊重し、検討していただきたいといったような形で良いのではないだろうか。

座長 今委員から俵口幼稚園との統合についての記載は、あまりはっきりしたものでなくて良いのではないかとのご意見をいただいた。俵口幼稚園の意見に配慮するという程度にしておいた方が良いのではといった意見もいただいた。

事務局 ご意見の整理をさせていただきたい。生駒台幼稚園の地域協議会で集まった意見を考慮し、原案をベースに進めつつ、俵口幼稚園の意見も十分に配慮して進めていただきたい。という方向でよろしいか。また、俵口幼稚園との統合に賛同するという部分については削除するとして、その次の生駒台幼稚園の単独でのこども園化についてはどうか。

委員 それは必要ないのではないだろうか。

委員 そもそも問題は園児が少ないというところである。

事務局 最後に確認をする。生駒台幼稚園の地域協議会の意見書は、(1)～(6)の意見を取り入れ、俵口幼稚園の意見にも配慮して検討していただきたいという形でよろしいか。

座長 このような形でよろしいか。次回の協議会を開催する必要は無いと思うが、どうか。

事務局 意見書の最終確認はお願いしたい。

座長 次回の協議会は開催しないとしてよろしいか。事務局のほうから最終版の意見書を各委員へ送付していただきたい。

委員 先の話になるが、再編のタイムスケジュールはどうなっているか。今後の動きについて質問されることが多いので教えていただきたい。

事務局 これから各協議会から意見書が出てくる。それを基に市の教育委員会で方針を決定する。その後は懇話会ということで、通園のことや施設のことなどの具体的な事柄を話し合う場を設定する。今すぐ話を進めていくには園児数が多いため、適正な人数になるタイミングを計る。その後に予算を組むので、今後2,3年で行うというのは難しい。また、結論も決まっていないのでその点でも今後の予定をお伝えするのは難しい。例えば、単独でこども園化する場合、早くても令和7年度くらいからということにはなる。

座長 最後に何かあるか。

座長 本日の会議の案件は以上である。

事務局 本日が最後になるということで、教育長より挨拶申し上げます。

教育長挨拶

<閉会>